



WE, JOKERS 英語のジョークを楽しむ会会報

No. 12 February 10, 2009

- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
 2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
 3. ジョークは簡潔が至上です。

ジョークと私

ジョークはナイトキャップ

林 治郎



新車を買おうと思って代理店を訪ねたら、Fordは、注文してから取り寄せるのに3ヶ月もかかるんだって。「Chryslerは？」って聞いたら1ヶ月かかるって。で、「Nissanは？」って聞いたら1週間とどけてくれるって。

「Dutsan? (That soon?)」という、耳に快い話をしてくれる時代に日米間の仕事が出来たのは幸いだっただ。

やがて、羨ましがられ、妬まれる時代が訪れ、そのうちに、沈没しつつあるイギリス船の話が聞こえてきた。

最後まで沈没船に残る決意をした船長が、イギリス人船員に「命令だ。船から即時退去しろ」「承知しました」と、上司の命令に従いました。ついで、船長はアメリカ人船員に「保険は掛けてある。行け」、「分かりました」と安心して去って行きました。次に、フランス人船員に「船と運命をともにしてもいいんだよ」、「いや、私は行きます」と言いながら天邪鬼のフランス人も去りました。

最後に、日本人船員に「さあ、もう皆行ってしまったよ」、「じゃ、私も一緒に…」という「みんなで渡れば怖くない」という国民性を指摘されるようになった。

最近、中国の4人の外科医がどんな患者がいか話し合っていたという話を読んだ。

Four (Chinese) surgeons were discussing on what type of patient they like best to operate on:

The first surgeon said, “I like a librarian. Because? All the parts are marked in alphabetical order when cut open.

Then the second knife man commented, “A bean counter is by all means the best. All the parts are numbered and easy to find.”

The third medic jumped into the conversation and said, “No, no. The electrician is the best, because all the parts are beautifully colored and a lot easier to find than ABC... and 1, 2, 3...”

The fourth sawbones impatiently opened his mouth and poured out his soul, “Japanese patients are the best of all and easiest. Why? They have no hearts and backbones.”

(一人の外科医は「図書館員がいい。だって開腹したらABC順に整理されているから」と。次の外科医は「経理担当者がいいね。だって数字の順に並んでいるから分かりいい」と。3人目は「電器技師がいいね。だって、内臓はきちんと色分けされているから」と。4人目は「日本人がいいね。だって、ハートがないし、背骨(バックボーン)もないから。」)

いつの時代も、ベッドでジョークをあれこれ読んでいると、和み、一人でニコニコ、ニヤニヤしながら眠りにつく。ジョークは私にとってはナイトキャップ。

今月のジョーク

‘What kind of ship never sinks?’
‘Friendship.’

第 12 回研究発表会

洋画のセリフで笑おう

安藤 雅彦

(痴遊亭区路州)

1. はじめに

僕の趣味のご三家は、飲む（ビール）、読む（ミステリー）、見る（映画）で、映画と言えば、テーマ1が洋画の原題と邦題の関係。テーマ2としては、映画館での「笑うネイティブ、笑えない僕」の口惜しさをバネに、笑えるセリフのコレクターをやっている。

もちろん画面依存型（例えばドタバタ喜劇は画だけで笑える）は対象外だし、ジョーク集にあるような自己完結型の小噺も集めない。筋の前後関係と、単語の多義性や、誇張、誤解・曲解、皮肉などで可笑しいセリフを集めている。

2. 洋画より引用 25

(紙幅の関係で超厳選のベスト・スリーを再現します)

Cynthia: I can still turn a few heads...

Roxanne: ...and a few stomachs!

(Secrets & Lies-1996)

家族の愛と葛藤を描いた『秘密と嘘』での母と娘のやりとり。母親の「私だってまだ人の関心を引くことができるのよ（魅力あんのよ）」に対し、娘は母の使った turn heads（関心を引く）の turn を受けて “and (you can turn) a few stomachs!” 「人に吐き気を催させることもね。」と強烈なカウンター・パンチ。

Dr. Christmas Jones: If I don't get that plutonium back, somebody's gonna have my butt.

Commander James Bond, Agent 007:

First things first.

(The World is not Enough-1999)

美人原子物理学者が「もし紛失したプルトニウムが戻ってこないなら、責任者をとちめてやる」と怒っている。butt は「頭（角）でつくこと」だから somebody's gonna have my butt は文字通り「誰か責任者が私の頭突きを喰らう

わ（懲らしめてやるわ）」になる。

ところがピアース・ブロスナン主演のボンド海軍中佐は、butt をこれとは違う見出し語である「尻」と曲解し、「まずはプルトニウムを探さなきゃ（セックスはそのあとだ）」と応じる。

僕のこの迷じゃなくって名解釈にたいし、本分野（？）のオーソリティである浦さんの説は、「まずやるべきことはセックスだ（それからプルトニウムを探そう）」。

Thomas Crown: May I ask you a private question?

Catherine Banning: Um-hm.

Thomas Crown: Would you like another espresso?

(The Thomas Crown Affair-1999)

ピアース・ブロスナン主演の粋でおしゃれな犯罪ゲーム、「トーマス・クラウン・アフェア」で、イイ男とイイ女がレストランで会食。

男が真面目な顔で切り出すと、女はどんな質問をされるかと、ちょっと構える。男は期待をはずし（肩透かし）、平凡な（個人的！）質問をする。

僕の「肩透かし説」にたいし、いつもクリエイティブな草野さんより反論あり：これは女性の期待どおり（？）「僕の部屋でもう一杯エスプレッソをどう？」というお誘いである。

この草野バージョンにたいし、すかさず小池さんが本作のオリジナルであるステーブ・マックイーン主演の「華麗なる賭け」の場면을証拠に支持を表明するというドラマチックな展開。会員のみなさんの軍配はどちらへ？

3. おわりに

みなさんに積極的に参加していただき、おかげさまで interactive な会になりました。「笑えるセリフ」のコレクションを増やして、このネタをバージョン・アップしてゆきます。

服部さんと草野さんから、You want a leg or a breast? (泥棒成金) と Yes, but my martini's still dry. (ネバーセイ・ネバーアゲイン) をいただきました。

みなさん、蒐集にご協力ください。お願いします。

第 12 回研究発表会

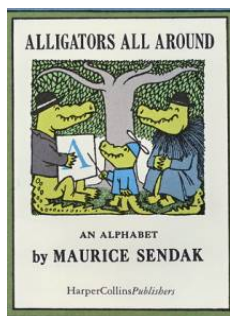
村松増美さんのユーモア

新堂睦子

私が勝手にユーモアのお師匠さんになっている日本の日英同時通訳の草分け的存在、村松増美さんはユーモアの巨人であり、興味の対象は実に多岐におよびます。

その一端を、**I** 村松さんの好きな作家、**II** 村松さんは wordsmith、**III** 村松さんは時の話題に敏感、**IV** 村松さんの Military Joke、**V** 村松さんのおすすめの本からとったユーモア、ジョークの順にご紹介します。

I アメリカの絵本作家 Maurice Sendak の



ABC の本、*ALLIGATORS ALL AROUND* は、愉快はワニの一家が、ABC 順に、様々な何ともいえないユーモラスなパフォーマンスをみせます。子どもワニの表情は決していわゆる「無邪気な」それではありません。

Dorothy Parker のウィットに富んだ詩、“Résumé”と落語「品川心中」の比較は村松さんの十八番です。

Résumé

とどのつまり

Razors pain you;	かみそりは痛い
Rivers are damp;	川だと濡れる
Acids stain you;	酸はしみを残すし
And drugs cause cramp.	薬はひきつけをおこす
Guns aren't lawful;	銃はご法度
Nooses give;	首つり縄はゆるむ
Gas smells awful;	ガスはくさい
You might as well live.	なら生きるとするか

品川心中

お染：わたしが、ほら、カミソリを二枚あわせといたから、ほら、これお前さん持って、あたし

がこれ持って、「ひのふのみ」でお互いの喉を切りっこしようよ

金三：ぶるぶるぶる！ そ、そ、そ、そりゃ乱暴だ！

お染：じゃ海へ飛び込もうよ

金三：そりゃだめだ、おれあ風邪引いてるんだ…

村松さん自身の著作からはクローン羊 Dolly と Dolly Parton の “Dolly Parton declared herself ‘honored’ to be the inspiration behind the lamb’s name and said there was no such thing as baaaaad publicity.” があります。

羊のなき声メー (baaaaa) と bad をもじったジョークです。

II 村松さんの wordsmith ぶりは、“Crazy English” (Richard Lederer) の引用にみられます。Bernard Shaw に帰せられる ghoti (fish) のスペリングと発音の乖離、ユーモラスな Santa と Satan の anagram(つづり換え)、ゆかいな oxymoron(矛盾語法)、例えば、old news, original copy, mobile house, civil war, military intelligence, open secret, standard deviation などです。

III 時の話題に敏感な村松さんは、時のユーモアを直ちにとりあげます。2001 年米国大統領選の butterfly ballot 開票の混乱時に霞ヶ関、ビジネス界を駆けめぐった E メール Mizuho Saves Miserable Florida (日本の巨大銀行グループ、米国大統領選挙の手詰まりを解決)とか、EU の The Perfect European の絵はがきを話題にします。もちろん、Politically Correct をめぐる話題も俎上にのぼります。

IV これは村松さんお得意の navigational error、ニューファンドランド沖での空母 USS Abraham Lincoln とカナダ当局との無線交信記録です。

ユーモアは delivery(話ぶり)にあります、未熟な私はお師匠さんに及ぶところではありません。

V 最後に村松さんの愛読書、NO LAUGHING MATTER A Collection of Political Jokes (Steven Lukes& Itzhak Galnoor)から。⇒p. 4

A Jew goes into a Belfast pub and is immediately asked: 'Are you a Catholic or a Protestant?' 'I'm a Jew,' he says.

'But are a Catholic Jew or a Protestant Jew?'

Catholic/Protestant Jewなんてありませんよね。

もう一つ New York City Cab Driver's Joke (Jim Pietsch) から。



Q: What do you call a man with syphilis, herpes, AIDS and gonorrhoea?

A: An incurable romantic.

(イラスト=広本英児)

どうぞよろしく=新入会員紹介=

(氏名、住まい、①私にとってジョークとは、私のお気に入りのジョークの順)

池田武彦 千葉市稲毛区 ①頭の体操、わかったときの爽快感。②Three Stages of A Man's Life:1. Tri-Weekly;2.Try-Weekly;3.Try-Weakly. (品位を保つため解説なし)

海野高峰 東京都世田谷区 ①楽しさや夢を広げ、家族との団らんやお友達との集いにジョークがあると、自然と会話も弾み、心と心をつないで、みんなを笑顔にしてくれます。②「ああ言えばこう言うで、先生の負け」

Teacher: How come you don't comb your hair? Student:No comb, Sir. Teacher: Use your dad's then. Student:No hair, Sir. 髪の毛がないお父様が、素敵なクシをお持ちかしら？おほほほほほ〜。(昨年のメルマガの[笑える英語の実践講座] Vol.132 から)

[編集後記]

池田さんのジョークで思い出しました。

All the world's a stage,
And all the men and women merely players:
They have their exits and their entrances;
And one man in his time plays many parts,
His acts being seven ages. At first the infant,
Mewing and puking in the nurse's arms....
Shakespeare: *As You Like It*

第13回研究発表会のご案内

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

- 日時：3月21日(土) 午後2時-4時
- 会場：平河町 Mercury Room (クオリティ株式会社8階会議室)
(東京都千代田区平河町1-4-5 平和第一ビル)
- 交通：地下鉄・有楽町線麴町駅1番出口より徒歩2分。詳しくは、<http://www.quality.co.jp/> で。
- 発表者：
岡田茂富 会員
“Tell me what's funny.”
- 創立二周年特別イベント
ジョークバトル
- 参加費：会員・非会員とも500円
- 研究発表会終了後、近くの喫茶店で、交流会を開きます。こちらにも、どうぞご参加ください。
- 問合せ先：renraku@eigojoker.com

素晴らしいかな後期高齢・米国編 スズメ百まで



コピー=宮本倫好
写真=Workshop Group, N.Y.

WE, JOKERS 英語のジョークを楽しむ会報

第12号

発行日：2009年2月10日

発行人：世話人代表 宮本倫好

編集人：佐川光徳

発行所：英語のジョークを楽しむ会

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5

平和第一ビル クオリティ株式会社 気付

TEL:03-5275-6121, FAX:03-5275-6130

問合せ先：renraku@eigojoker.com

